

電気設備、機械設備の最適導入を提案 栄興電機工業株式会社（尼崎市）

今回は、電気設備の据付工事、ディーゼル発電設備の販売、自動起動盤などの製造・販売を手がける「栄興電機工業株式会社」取材した。小坂圭一・代表取締役社長。〒661-0971兵庫県尼崎市瓦宮1丁目9-15。☎06-6491-5301。同社は電気設備の施工に関して高度な技術力を持ち、ヤンマーエネルギーシステム、NTTファシリティーズ、愛電商事の特約店として事業を展開している。

一方、グループ会社の「栄興設備工業株式会社」は工場内搬送設備のコンベアなど機械設備の設計・製造を行っている。栄興グループとしては工場や事業所向けの発電・給電・制御に至るまでの電気設備と、上下水道施設や各種処理施設向けの機械設備の両方を手がけることでシナジー効果（相乗効果）が得られ、機電一体の観点から最適な技術力や提案力、施工力を提供している。

ガスコージェネやガスヒートポンプの活用によるCO₂削減や、さまざまな加工を行う産業機械の省力化、最新の膜処理技術などを駆使して環境装置の設計・施工にも積極的に取り組む栄興電機工業を紹介する。

創業の経緯

小坂圭一社長の父親で現会長の小坂道一氏は、関西大学ボクシング部の同期生だった三木憲三氏と共同で、昭和32年（1957年）2月、「栄興電機」を設立し創業した。創業時は主に工場などの電気設備のメンテナンスを行っていた。昭和35年（1960年）3月、栄興電機を法人化し、「栄興電機工業株式会社」を設立した。昭和39年（1964年）12月、新社屋を尼崎市に建設した。

なお、小坂道一氏は国民体育大会（国体）のボクシング競技に5度出場した名選手だった。ボクシングを引退後もアマチュアボクシング連盟の顧問職を務めていた。また、関西大学理事を4年間、同評議員を8年間、現在も同顧問職を務めている多才な名士でもある。

昭和41年（1966年）2月、栄興電機工業のコンベア部門を独立し、グループ会社「栄興設備」を設立し創業した。同年8月、栄興設備を法人化し、「栄興設備工業株式会社（大阪府摂津市、☎06-6349-



小坂 圭一 社長

2831）」を設立した。昭和47年（1972年）9月、栄興設備工業の新社屋を大阪府摂津市に設立した。平成12年（2000年）3月、栄興設備工業の西脇工場を兵庫県西脇市に建設した。

一方、昭和44年（1969年）4月、栄興電機工業の制御盤・配電盤の両部門を独立し、グループ会社「株式会社エイコーパネル」を設立した。昭和63年（1988年）12月、栄興電機工業はエイコーパネルを吸収合併した。平成8年（1996年）8月、栄興電機工業の本社ビルを現在地に建設した。

創業者の小坂道一氏は平成12年（2000年）9月に栄興設備工業の社長を退任し、同年12月に栄興電機工業の社長を退任した。両社の後任社長として小坂圭一氏が就任し、現在に至っている。

事業の変遷

昭和46年（1971年）～49年（1974年）にかけて、デパートビル火災が相次いだことを受け、消防法が大改正された。それに伴い、ディーゼル機関で駆動する加圧送水装置の動力源である非常動力装置の新規市場が出現した。栄興電機工業では、非常動力装置に搭載される制御盤の配線工事を受注した。併せて、装置メーカーから制御盤の組立作業も請け負い相手先ブランドによるOEM供給を開始した。

昭和40年代（1970年代）後半にヤンマー特約店となり、大阪駅前ビルに非常動力装置2台を設置するなどヤンマー製の非常動力装置の据付工事を数多く手がけ、電気工事会社としての地位を確立した。



本社ビル

また、消火ポンプユニットなどに搭載される出力500~1,500kWクラスの低速ディーゼル機関の販売を開始し、売上高を伸ばしていった。現在、兵庫県および尼崎市の電気工事認定業者として、いずれも「Aランク」に格付けされている。

平成12年(2000年)以降の主な施工実績としては、平成12年(2000年)、関西大学大学院棟に600kWのガスコージェネを、長崎県防災無線向け非常用発電設備を、阪神水道企業団新尼崎浄水場に脱水機用コンベアをそれぞれ納入した。平成15年(2003年)、兵庫県立芸術文化センターの舞台照明設備工事を施工したほか、尼崎市ごみ焼却施設に3,000kVAの非常用発電設備の据付工事を行った。

平成18年(2006年)、大阪湾沖埋立処分場に400kWの常用発電設備を納入したほか、京都市下京区にある株式会社スプレッドの野菜工場の電気工事を施工した。平成20年(2008年)にオープンした阪急西宮ガーデンズに非常用発電設備を納入した。

平成21年(2009年)、関西大学高槻ミュージックキャンパスに400kW×2台のガスコージェネ(常用防災兼用機)の据付工事を行った。石巻市下水道部釜ポンプ場向けポンプ駆動用ディーゼル機関を納入した。平成22年(2010年)、国土交通省豊岡排水機場向けポンプ駆動用ディーゼル機関を納入、東京



兵庫県立芸術文化センター 東芝ライテックとのJVで舞台照明を施工した



佐野太陽光発電所 出力2,000kW、NTTファシリティーズとのコラボで受注した

都金町浄水場に脱水機コンベアを納入した。平成27年(2015年)1月13日に発電を開始した2,000kWのメガソーラー「佐野太陽光発電所(淡路市佐野地区)」の据付工事を行った。兵庫県企業庁による8番目のメガソーラープロジェクトである。

注力する事業分野

栄興電機工業では「施設営業部」「特機営業部」「機器営業部」の3部体制を採用している。

施設営業部では、NTTファシリティーズと愛電商事の特約店として病院・店舗・ホテル・マンション・



関西大学高槻ミュージックキャンパス

■システム

ガスエンジンCGS 400kW 2台

■特徴

「社会貢献型都市キャンパス」を目指し、多くの施設を地域開放するとともに、災害時には防災拠点となるべく、避難所機能を備える計画とされ、関西の大学施設としては初めて非常用発電機兼用コージェネを採用し、省エネ性、環境貢献性への寄与は当然のことながら、災害時の防災拠点として役立つコージェネレーションシステムである。



関西大学アイスアリーナ 50kW非常用発電設備を設置した

工場向けに省エネ対策用トッランナー変圧器や高調波対策用アクティブフィルターの導入提案、停電対策用非常用発電設備やUPS（無停電電源装置）の据付工事、LANなどの通信設備、照明設備、電力監視システム、自動火災報知設備などの導入提案を行っていく。

特機営業部では、ヤンマーエネルギーシステムの特約店として、ヤンマー製品の販売を中心に行っている。引き続き常用ガスコージェネ、非常用ディーゼル発電設備の据付工事やメンテナンス、大型ポンプ用エンジンの販売、ガスヒートポンプ、環境装置などの導入提案を行っていく。



関西大学総合学生会館「メディアパーク凜風館」 815kW×2台のガスコージェネと生ゴミ処理システムを施工した

機器営業部では、病院・店舗・ホテル・工場向けに防災用消火ポンプ制御盤や防災用排煙ファン制御盤、ディーゼル機関制御盤、機械装置制御盤、キュービクル受電盤、配分電盤などの設計・制作・施工を行っていく。

さらに、栄興設備工業との連携に伴うシナジー効果(相乗効果)により、売上高よりも利益確保を重要視する企業体質へと改善していく。併せて、工場内搬送用クレーンやベルトコンベア、上下水道処理施設内汚泥搬送装置、地球環境に優しいメガソーラーなどの再生可能エネルギーシステムや空調設備、植物工場向け照明設備の受注拡大を目指していく。